

# 山口新聞

平成24年10月19日(金)

NO.27

農地・水・環境

## 守ろう地域の手に



⑰

畔、有害獣電気柵周辺、山一ナー制度」を導入し、田植え、稲刈り、ソバ播種、そば打ち、しめ縄づくり体験などを実施。都立高校生を受け入れ、ふれあい体験の場を提供している。

こうした自治会と保全会の取り組みは、集落住民の共同活動意識向上や婦人部活動の強化につながった。

本保全会は俵山温泉に隣

接する2集落で、2007

年度から農地・水保全対策

間地帯で最も苦痛となる畦

安田地域資源保全会(長門市)

## 共同化による安心安田の郷づくりをめざして

の栽培も進めている。

自治会が中心となり、都市住民に農業・農村を理解してもらったための「水田オ

県外から空き家活用による新入居家族を迎えたことは、集落の活気につながっている。

今後、こうした活動により、農地・農村集落を守っていききたい。

(代表、松岡修二)

【Xモ】代表 松岡修二  
▽会員 38人、農家24戸、上安田自治会、下安田自治会、上安田JA女性部、下安田女性部  
▽設立 2007年6月1日  
▽連絡先 長門市東深川78の53、松岡 308  
37・22・1890



上 会員の皆さん 下 ソバ播種体験

